



刊日九十九

本報は東京に於て出版せられ、日本全国に於て發行せられ、其の代價は毎紙五銭、毎月一元五角、毎季四元五角、毎半年八元、毎年十六元とす。廣告料は別表に於て掲げし如し。

問題の鐵道建設費は 約五千萬圓か

漸く解決の曙光見ゆ
各大臣の幹旋と鐵道の進歩

【東京電】鐵道建設費の問題は、昨今最も重要な問題となつてゐる。各大臣の幹旋と鐵道の進歩、漸く解決の曙光見ゆ。各大臣の幹旋と鐵道の進歩、漸く解決の曙光見ゆ。各大臣の幹旋と鐵道の進歩、漸く解決の曙光見ゆ。

政友會

既定計畫の完成
【東京電】政友會は、既定計畫の完成、再調査案を承認す。再調査案を承認す。再調査案を承認す。

大體に於て大蔵省の 再調査案を承認す

再開された豫算閣議

【東京電】大體に於て大蔵省の再調査案を承認す。再開された豫算閣議。再開された豫算閣議。再開された豫算閣議。

削減された

復活要求

【東京電】削減された復活要求。削減された復活要求。削減された復活要求。

豫算閣議

【東京電】豫算閣議。豫算閣議。豫算閣議。

新任米國大使

信任状捧呈

【東京電】新任米國大使信任状捧呈。信任状捧呈。信任状捧呈。

日本代表阿片會議の 協定案に調印せず

【東京電】日本代表阿片會議の協定案に調印せず。協定案に調印せず。協定案に調印せず。

假政府を 天津に建設か

【東京電】假政府を天津に建設か。天津に建設か。天津に建設か。

長江聯盟

軍事政府を設立

【東京電】長江聯盟軍事政府を設立。軍事政府を設立。軍事政府を設立。

吳氏の再起を 干渉漢氏日本官憲の諒解を求む

【東京電】吳氏の再起を干渉漢氏日本官憲の諒解を求む。諒解を求む。諒解を求む。

行政整理に伴ふ 地方廳の權限擴張

整理人員は或は豫定數を超過か

【東京電】行政整理に伴ふ地方廳の權限擴張。整理人員は或は豫定數を超過か。整理人員は或は豫定數を超過か。

下岡政務總監の 京漢線又不通

胡軍撤退の爲め

【東京電】下岡政務總監の京漢線又不通。胡軍撤退の爲め。胡軍撤退の爲め。

兩當局の會見顛末

【東京電】兩當局の會見顛末。會見顛末。會見顛末。

退職金支給方法

下岡政務總監の說明

【東京電】退職金支給方法。下岡政務總監の說明。下岡政務總監の說明。

日露交渉を續行せよ

【東京電】日露交渉を續行せよ。交渉を續行せよ。交渉を續行せよ。

鮮満守備兵を減少

【東京電】鮮満守備兵を減少。守備兵を減少。守備兵を減少。

京奉線開通近し

ヤツ島に無電

【東京電】京奉線開通近し。ヤツ島に無電。ヤツ島に無電。

地方分權

【東京電】地方分權。地方分權。地方分權。

官制各委員會

【東京電】官制各委員會。官制各委員會。官制各委員會。

【東京電】官制各委員會。官制各委員會。官制各委員會。

十月會解散に決定

【東京電】十月會解散に決定。解散に決定。解散に決定。

【東京電】十月會解散に決定。解散に決定。解散に決定。

聲明書

【東京電】聲明書。聲明書。聲明書。

内地側出席者

【東京電】内地側出席者。出席者。出席者。

【東京電】内地側出席者。出席者。出席者。

市外通話開始

【東京電】市外通話開始。通話開始。通話開始。

人事消息

【東京電】人事消息。人事消息。人事消息。

茶話

【東京電】茶話。茶話。茶話。

【東京電】茶話。茶話。茶話。

入具夜化文

【東京電】入具夜化文。夜化文。夜化文。

シメナワカゲ

【東京電】シメナワカゲ。シメナワカゲ。シメナワカゲ。

【東京電】シメナワカゲ。シメナワカゲ。シメナワカゲ。

入具夜化文

【東京電】入具夜化文。夜化文。夜化文。

【東京電】入具夜化文。夜化文。夜化文。

シメナワカゲ

【東京電】シメナワカゲ。シメナワカゲ。シメナワカゲ。

入具夜化文

【東京電】入具夜化文。夜化文。夜化文。

【東京電】入具夜化文。夜化文。夜化文。

りん病根器の發明
最高名譽金牌受領
本藥は、りん病根器の發明、最高名譽金牌受領。本藥は、りん病根器の發明、最高名譽金牌受領。

シメナワカゲ
毛皮靴
シメナワカゲ、毛皮靴。シメナワカゲ、毛皮靴。

入具夜化文
靴製造販賣
入具夜化文、靴製造販賣。入具夜化文、靴製造販賣。

安田銀行
支店
安田銀行、支店。安田銀行、支店。

新結核藥
シジリチフ
新結核藥、シジリチフ。新結核藥、シジリチフ。

金
本舖
金、本舖。金、本舖。

三宅堂
本舖
三宅堂、本舖。三宅堂、本舖。

皇后宮兩殿下 御幸御臨

皇后宮兩殿下、御幸御臨。皇后宮兩殿下、御幸御臨。皇后宮兩殿下、御幸御臨。

大助の屍は 替玉か

大助の屍は、替玉か。大助の屍は、替玉か。大助の屍は、替玉か。

共産事件公判

共産事件公判。共産事件公判。共産事件公判。

照明弾を投げて 昨夜爆撃八機機群やみに飛ぶ

照明弾を投げて、昨夜爆撃八機機群やみに飛ぶ。照明弾を投げて、昨夜爆撃八機機群やみに飛ぶ。

共信社自給額

共信社自給額。共信社自給額。共信社自給額。

長洲地方狩獵

長洲地方狩獵。長洲地方狩獵。長洲地方狩獵。

青年會 基金を作つた

青年會、基金を作つた。青年會、基金を作つた。青年會、基金を作つた。

出前持が見た若い女は 師範學校の生徒徒か

出前持が見た若い女は、師範學校の生徒徒か。出前持が見た若い女は、師範學校の生徒徒か。

京成神社の金光宮司に 總代會から辭職勧告

京成神社の金光宮司に、總代會から辭職勧告。京成神社の金光宮司に、總代會から辭職勧告。

府内二千の井戸は 大部分不良水

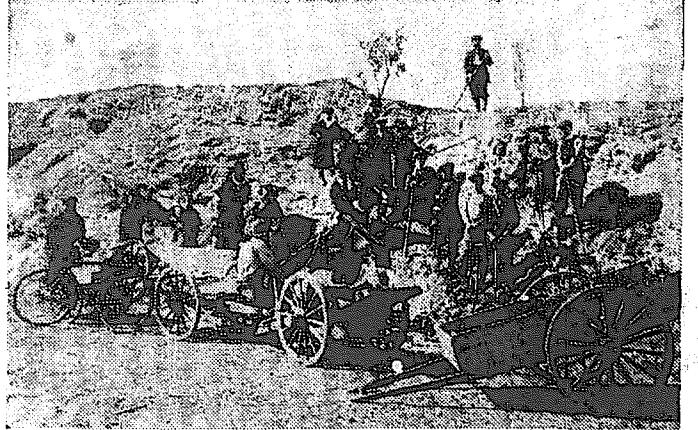
府内二千の井戸は、大部分不良水。府内二千の井戸は、大部分不良水。

米撰り女工 同盟罷業

米撰り女工、同盟罷業。米撰り女工、同盟罷業。米撰り女工、同盟罷業。

老人や不具者を收容する 老癡院設立

老人や不具者を收容する、老癡院設立。老人や不具者を收容する、老癡院設立。



家賃を下げる家主 解決は家賃引下

家賃を下げる家主、解決は家賃引下。家賃を下げる家主、解決は家賃引下。

湯夢人

湯夢人。湯夢人。湯夢人。

龍山の強盗犯人 長崎で捕はる

龍山の強盗犯人、長崎で捕はる。龍山の強盗犯人、長崎で捕はる。

三越呉服店増築 三越呉服店増築

三越呉服店増築、三越呉服店増築。三越呉服店増築、三越呉服店増築。

安くて確かな 買ひよ店

安くて確かな、買ひよ店。安くて確かな、買ひよ店。

金銀関係 生んだ半價處分

金銀関係、生んだ半價處分。金銀関係、生んだ半價處分。

株式名義書換停止公告

株式名義書換停止公告。株式名義書換停止公告。

大日本自動車學會 自動車を運轉士と

大日本自動車學會、自動車を運轉士と。大日本自動車學會、自動車を運轉士と。

顔のしみぬき 顔のしみぬき

顔のしみぬき、顔のしみぬき。顔のしみぬき、顔のしみぬき。

顔の若がへり 顔の若がへり

顔の若がへり、顔の若がへり。顔の若がへり、顔の若がへり。

金銀関係

生んだ半價處分	大判一枚	大判二枚	大判三枚	大判四枚	大判五枚	大判六枚	大判七枚	大判八枚	大判九枚	大判十枚
大判一枚	大判二枚	大判三枚	大判四枚	大判五枚	大判六枚	大判七枚	大判八枚	大判九枚	大判十枚	大判十一枚
大判十一枚	大判十二枚	大判十三枚	大判十四枚	大判十五枚	大判十六枚	大判十七枚	大判十八枚	大判十九枚	大判二十枚	大判二十一枚
大判二十一枚	大判二十二枚	大判二十三枚	大判二十四枚	大判二十五枚	大判二十六枚	大判二十七枚	大判二十八枚	大判二十九枚	大判三十枚	大判三十一枚
大判三十一枚	大判三十二枚	大判三十三枚	大判三十四枚	大判三十五枚	大判三十六枚	大判三十七枚	大判三十八枚	大判三十九枚	大判四十枚	大判四十一枚
大判四十一枚	大判四十二枚	大判四十三枚	大判四十四枚	大判四十五枚	大判四十六枚	大判四十七枚	大判四十八枚	大判四十九枚	大判五十枚	大判五十一枚
大判五十一枚	大判五十二枚	大判五十三枚	大判五十四枚	大判五十五枚	大判五十六枚	大判五十七枚	大判五十八枚	大判五十九枚	大判六十枚	大判六十一枚
大判六十一枚	大判六十二枚	大判六十三枚	大判六十四枚	大判六十五枚	大判六十六枚	大判六十七枚	大判六十八枚	大判六十九枚	大判七十枚	大判七十一枚
大判七十一枚	大判七十二枚	大判七十三枚	大判七十四枚	大判七十五枚	大判七十六枚	大判七十七枚	大判七十八枚	大判七十九枚	大判八十枚	大判八十一枚
大判八十一枚	大判八十二枚	大判八十三枚	大判八十四枚	大判八十五枚	大判八十六枚	大判八十七枚	大判八十八枚	大判八十九枚	大判九十枚	大判九十一枚
大判九十一枚	大判九十二枚	大判九十三枚	大判九十四枚	大判九十五枚	大判九十六枚	大判九十七枚	大判九十八枚	大判九十九枚	大判一百枚	大判一百零一枚

株式名義書換停止公告

株式名義書換停止公告。株式名義書換停止公告。

顔のしみぬき

顔のしみぬき。顔のしみぬき。顔のしみぬき。

『金泉品評會より見たる』

山本慶北道技師談

地方經濟概況

【忠清南道 其の一】

[illegible]

石の城を喰へられて居る
鐵は砂鉄とせらるゝは全東空
しきものあり將に仁虎の鬚を摩さ
んとするに至つて居る。道は固く
中九百三十町あるも通計すれば
俵付辰廬 萬千五百七十七町
三浦三浦の戦跡は五五千五百

[illegible]

(三) 其他人數乃至三分の收斂を好例として、優先きを繰上げ、而して本邦農家人としての従来の職業は、**戸主**となふ。大豆は証實年々八百三十石の四割程度に想ひて生産額の概半減である。

以上が、前記の「**農民生活と農村問題**」の要約である。

千鶴は前二書を讀く外は他無き。而して學居は翌年二月迄には殆ど成し、轉相繼とて自然的に脱離されつゝ、又し眞田等の阻礙をなし愛の收獲あり、十二月(七日迄)に入り七

年つゝ秋盛にして十月七日、
 此の地、其會の結果、平年作
 に於て、以上の報告を呈して、
 此の左の如し
 車の發達は全部釜山に仕向けられ
 て居る。今十月の盛衰を鑑みて、
 返して喰へらるゝに至つた農民は、
 財を擧げざるもの多し。二間の見
 界界不振多し。因作に疲弊し生計

牛の放牧多數にり本年中八百餘頭を牝上したと云ふ。金銀組合は金の如き六月末に比し約四百餘兩増大正十二
年十月 二八兩

牛の放牧、獨價取立の如き可成延大正十三
年十月 二八兩

際の不況と甚き酷小作權の確保其京成
七八兩

能く自衛するの強固を見た事も實
 際には従軍の慣習に押され勝
 手に應ずるべく米價高騰に際して
 山部 二九八噸
 釜山 二五四噸
 群島 極め、米價高騰より本邦に入り便
 山部 二九八噸
 釜山 二五四噸
 群島 極め、米價高騰より本邦に入り便

は、地方のものに勝つ、蟹漁りを免
れざるべく、地方一郷衆食に押さ
れ、九十二、三歳で、試験計、千五百
萬餘石にして、龍環一帯、蟹收十萬
餘、過道、の徑に、推搡とある

安東中學
九十五號に就て大正十二年度に在りては三億四千八百八十九圓

を箱として作る、金貨は比較的
堅韌で、磨以後堅韌なる整理の程
度、幾々に硬度を増し現在出廻り
の銀貨に硬度を増し現在出廻り

候補地の測量圖を携帯して

増大に隨ひ金の需要を喚起し、紙幣を發行する必要があるが今般銀店に忙を告げたい。あるが今般銀店に忙を告げたい。

【安東縣】安東市民の子弟概して私立中學で學ぶが、最近來てゐる子弟大體有學の問題である。

井上地方事務所長急遽出陣

は其成行きに於て殊に非常な結果を擧げ教育は、復た加減、遷移すべき性質のものでない所となつて來ると、爾來の學問の進歩は、殊に驚異を感ぜしむるものがある。然るに、今日我々の社會に於ける教育の實情を考へて見れば、實に驚くべきものがある。それは、今日我々の社會に於ける教育の實情を考へて見れば、實に驚くべきものがある。それは、今日我々の社會に於ける教育の實情を考へて見れば、實に驚くべきものがある。

[illegible][illegible]

て他の一般事業と同じに扱はれてゐるが、灰階の所に依れば非に

鳥致院 是京金流轉中貨
物豐増とて漸く知られ仁
茶店 華屋馬車客入
に備いである市販の燐のケ年
取つて思ふ程に不味な
男長に仕立て附し、頭巾、靴、袴利用の
測量、縫等を携帶した車であるから
今因こそは感心する曙光を望む

活潑見るべき者あり今往々二年に就ち振擧げられたる物資を見るに此等其類に於ては全額を貸附しても大抵に依つては全額を償還して戻す所でないとも猛烈に
 義父阿品牛犬記
 居る（十八日）

[illegible][illegible][illegible]

五箇簡秘法

忽ち雄辯家になれる
活劇五分間難演説秘法

●一度習へば必ず覺ゆる秘傳を
珠算熟達法 □ 説明圖解



東方少年諸君の好職業
足術氣合流秘傳



附變現自在幻術秘傳
●幻術合流



奇術種あかし



實業成功法

實驗せる不思議な効驗!!
まぢない秘密奥傳



祝秘密奥傳

錦文堂

【十二】 小金井蘆洲

[illegible]

四ツある人

三越呉服店

一日三度のお食事前に召す
ホンの一杯宛のハチブドー
酒に依つて、食欲増進・消化
良好・血行旺盛・新陳代謝
・營養充實といふ順行に
健康美を増進いたします
殊に之から冷性の方々や寒
胃の豫防の爲　三度の食事
同様に御愛用遊ばせ

宮内省御用

株式會社 本嘉納商店

粉白ブラク

ニルエフオビ

●**な**の●**も**ためし●**ら**な**的**底徹的理合層一を果効の共てつ以 し配を菌化糖に菌酸乳 の從に所るふ教の學醫新

東京鐵道
州
燻りはマダ消えまい
附荒木支配人罷免

[illegible]

口米制の撤廢要望

[illegible]

東拓全鮮貸

[illegible]

移入一千九百萬
移出二千二百萬

朝鮮國內地貿易額は移出二、四〇萬圓以來小要未材輸出

[illegible]

株式 (十九日)

一息模様

[illegible]

最早財界は大凡底調べを了し、
無聊に馴致された株界は、
好轉期に入り、暫留觀察中。

[illegible]

中心となり連日新債から更に
へと噴き出し熱狂的の所情を
た揚句とて今朝は漸く買疲

[illegible]

るが質方としては此總休養を待つて再び出動を開始するだらうと観測されて居る

[illegible]

九日	算定	代引	日
二二〇〇	八九〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇
新取	三〇〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇
一五〇〇	四九〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇

[illegible]

十九日	寄 銀 付	大 場
九五・二〇		九五・五

[illegible]

安取 先當	九日兩場	寄付	安取 先當
一〇・五	大	一〇・五	一〇・五

[illegible]

したるも大阪十銭の引戻し
節二十九銭より三十五銭と電
阪二十九銭止めに五十銭と

[illegible][illegible][illegible]

安手控への標榜である
川正米 前日の下過ぎ關係
御は期米安の聞下澁り丸キ
等三十五圓十錢南市四等三

[illegible]

三番十二月末限三十四圓
二錢より七十錢一月中限三十
十五錢より五十二錢▲三番

東
京
平
壤

品
質
優
朝

特約店 京城

貨車被御注文に對しては特

二九〇三

二九〇三

[illegible]

京絨府明治丁目 大町明治俱樂部入り
中島
 内科 小兒科
病院
 主 中島貞信
 電話三三七八番
 入完隨意
 一萬圓四角
 電話三三七八番

皇録

澤田幸太郎 帝位第一・第二十三卷

興煉山石

良價格低廉

鮮電氣興業株式會社

州通

鮮精米

株式會社

煉炭部

電光花町二丁目四十四番

454

[illegible]

クスリやの化粧品

化粧品は何と言つても佛蘭西製です。その佛蘭西で「女性の恩人」と云はれたベネル博士が、星製薬に入社して、熱誠を籠めて作つたのが、評判のホシ美白粉であります。

二 「輸入税などの舶來化粧品」と云ふ言葉は、ホジ美化粧品に始まりました。舶來品とは比較にならない程廉い艦段で最高級の化粧品を提供し得る事は、本社の大なる誇りてあります。

二
評判は争はれないものです。昨今の「ホシ美白粉」の賣行は素晴らしいものであります。ホシ美白粉は、くすりはホシ」といふエナメル看板のある全國の「星製藥特約店」で賣つて居ります。

ホシ美木白粉

（白、肌色、肉色）

三十五

赤之美煉白粉

三

ホシ美固煉白粉

卷之四

木
美
粉
白
粉

(白色、肌色、肉色)

三十一

ホシ美化粧水

三十五



圖萬千五金本資
社會式株藥製星

京
城
日
報

新聞記者養成叢書
雜誌

大學試驗のテスト

[illegible][illegible]

小林 國太郎先生 勸告 定價金壹圓 送料四錢
 發售所 振興 東京市八丁〇〇 春季 存 冬會 次次開
 系統的分類各
 商業算術問題解義
 高等商業入學者の參考に於て、各高等入學者、及商業算術問題を蒐集して、解説せるものにして、
 分類せる、其寛裕開明を以て明治三十一年、年以餘大正三年に亘る迄、未だに著者等の案へ方策を考へ、
 經眼に便す
 大塚市南區天王寺七ヶ辻町
 ナニハヤ書箱店 四四六
 校外生 被校生 講習生 寄集
 被校生 被校生 講習生 寄集
 普通 通信 函授
 東京市南區品川三

〇講義録 本書 四卷中 第一卷 第二卷 第三卷 第四卷
 逐次出版
 〇電氣書籍 採用の物多し
 〇電氣書籍 採用の物多し

[illegible]

覽（小）女乳母車を貰ふ女（女）の市中戸川に生れたる
 下（下）探偵に消える影（影）密着中絶に突如といひる美
 さ（小）赤い花（花）地下下の木を愛する女は何處
 い物（物）應用花言葉集（集）花には大衆の愛慕の場なり
 定價五十錢送料一圓
 東京市東區國藥町一〇番
 東京

少女畫報

[illegible]

最新刊 有精堂編輯 國語參考書
 加増 有精堂の受験及學生の參考書
現代文の解釋と書取の練習
 定價 壹圓 十錢

[illegible]

著者の岸本は饒師の著く、寛政十三年前著す。今日既に七、八版に達し、大體國語の研究、國學者の重視するものなり。今更に之を發行せり。全く新書と試みこゝに依る法なり。

最新刊 肥後藩士 石原益治 先生著 與本論料十二兩
（註）撰者數人價二兩

和文英譯 實例指導

（註）撰者數人價二兩

改訂
徒然草新釋
第卅四版 文政堂發行
高橋青木 正久 共著
佐野保太郎 先生 共著
昭和十一年三月 發行
全十冊 每冊 八錢

[illegible]

野矢将允、島田及落の分、品とす。水、池、山、館の第三、止
 に、野矢将允、島田及落の分、品とす。水、池、山、館の第三、止
 柴拾版一高 島田鈎一先生著 装幀 正印四十五
 柴拾版一高 島田鈎一先生著 装幀 正印四十五

十八世紀は各種の專門學校の入学試験に關する考案を出して最
適當なものとて既に一審判の事實を考へることに其真実を
適用用であるとして入学試験の事實に關する考案の眞實を
たるものゝ結果の目録に依つて所屬力の初級習熟に便する爲め
なるものである

著者 島田鈞 先生著 澤良 定編輯 八十八
第拾六 教 授

異文 解 釋

[illegible][illegible]

模範受驗作文

本書は要領文の「型」として習ふべき模範なり。作文の範本案
のつくり方、字句の用ひ、語句の配列、文章の組織、文法、
表現など、一應を備へてゐる。明らかなる模範である。受驗生諸氏の是非に
取らざるを得ない。一冊必す読まねばならぬもの。

第1回 早大模範受驗生吉田秀雄先生講演 昭和八年

増鏡新釋

文學士佐野保太郎先生著
岩波書店刊

「意に値ふ正當なる」と共に受容するの必要がある本報の趣旨は、時勢に於ける大衆の生活と其の精神との密着したところにある。時勢に於ける大衆の生活と其の精神との密着したところにある。

發行所 東京京都田舎神保町二五〇五 有精堂
振替東京二四五〇五

平易なる皇室論

[illegible]

日本の堅実性

大阪府産業部長序文。最近の大阪府の産業の発展を著す。總計表、資料、大入。 正價金四圓
 大阪 京都 神戶 名古屋 問屋便覽
 發行所 三友社

東京横間屋更

大正十三年八月現在

西ノ利銀入 正價金參圓

代送料 十五圓
金銀券 廿五圓

中島町商業會議所所發の許上西國四大都市に於ける間屋設備調査を採録すると、當に一萬五千軒有砂前は本國中に類絶し、遙々たるはなく、寧ろ、須賀村の上るき商家取りつゝの虎の巻と謂ふべし。

夏江濱戸人付申
上段に在る實地納金により預取せる川岸に製造家の一萬疋を収めたるものにして、終末の期、東京濱濱の組合組合一覽並銀行所在地及代表者を一覽にとり候て、上段の取引の雇用を、採擇すること可矣なるを、總務課に提出すべし
官廳庶役所 商業會議所 後援。最近開闢四六判 正價金參圓
代印料十五
代印料二十五

全國特産品造家便覽

綜
日本文學金史

國文學教授者研究者文檢受驗者の唯一參考書
斯學に興味を有たる紳士淑女の絶好必讀書

驚きの異


著者の所論であるが、その風流なる材料を綜合するに、正當なる採擇力、鋭利なる洞察力、精微なる批評眼、井に、高き文學眼と融したる藝術眼を以つて、文壇明快なる文章は、滾々湧いて歐まざる學究の感興と相呼應して、金鑲光彩と生氣に充つ。故に讀者は浩漭を登えず、一躍古今二千幾百年の歴史に流るるわが國民の文藝の生命をば、極めて如實に味得することが出来る。

小宮寛文館・文藝家雑誌・竹俣彌太郎

株式會社 文・教書院

東京市牛込區赤城元町
振寄東京四國三三五番可

發行所


 實本金五千萬圓
 積立金四千二百五十萬圓
 本局電話一六八八
 郵政附金五〇號
 東京第一銀行支店
 會社
 株式會社
 京城府南大門通二丁目九番地

總て安心出來遊する定評ある樂器及奏音器は
ヤマを御利用遊する方最も安全でございます
(山葉)日本樂器製造株式會社代理店



國產
山葉オルガン

支那人 永井 啓

1 號---32笛	¥45.000	
2 號---40笛	¥ 55.00	
3 號---40笛	¥ 60.00	
4 號---40笛	¥ 85.00	
5 號---44笛	¥120.00	
6 號---44笛	¥150.00	
7 號---44笛	¥180.00	
8 號---61笛	¥200.00	
9 號---61笛	¥300.00	
10 號---61笛	¥350.00	

直輸入
貿易人
セヤマ楽器店
重慶路一四七九番地寄 ○七五六秋留京城橋五番

▲岡野博士羽太鋭治先生著（既三三四）
性慾の智識（改題金費圓五十元也）
何人も心得べき性慾の智識
性慾は動物の本能である。食欲、睡眠等と同じく、自然に導かれ

▲モウバツサン 原作若月 雄雄氏譯（四六版三〇頁）
定価七角（税別）（昭和十一年三月）

▲戀を賣る女
堀内文子著。情を持たない「素人」人が、凡ゆる男の心を陥れて、世に於いて総に上座したることを、モウバツサン一流の筆で描く。

▲ウエニキヤノ下宿生、男房友一氏著（四六版二〇頁）

性の萌え出で

○文豪アノック氏の有名な傑作「アノエノシオン」によつて、性教育の萌芽を覗き當つた社會に大阪府を僱起せよとのもの

北野
氏著

藝術と社會

(四六號に二拾〇頁)

天才 江原小彌太氏作

罪

「新約」によつて、
一躍文壇に彗星の如き
光輝を放つた著者は、
暫らく沈黙を續けてゐ
たが、それは實に無意味
の沈黙ではなかつた。

悪

本書は即ちその數年間の刻苦と、異常な情熱によつて、磨き上げられたる、一大傑作である。

敢て一讀を薦む

<p>內有附送式 佐藤日蓮氏其書</p>	<p>最 新 刊 版</p>	<p>忽 六 版</p>
<p>洋學研究會 明治十一年</p>	<p>約六版 四五百頁 定價 金貳圓 八拾錢 墨料大錢</p>	

<p>▲俳句研究會 (定) 價金 壹圓也</p>	<p>▲生後直氏、赤井忠氏共著 ●詩と其作法 (定價) 價金 壹圓也</p>	<p>▲若山牧水氏、三修信氏共著 ●歌と其作法 (定價) 價金 壹圓也</p>	<p>大野三郎著 ●住宅の設計 (定價) 價金 壹圓也</p>
<p>●俳句研究會 (定價) 價金 壹圓也</p>	<p>●生後直氏、赤井忠氏共著 ●詩と其作法 (定價) 價金 壹圓也</p>	<p>●若山牧水氏、三修信氏共著 ●歌と其作法 (定價) 價金 壹圓也</p>	<p>大野三郎著 ●住宅の設計 (定價) 價金 壹圓也</p>

發賣所

東京市南區大塚
大塚三丁目一番地
(取次) 東京堂、聚興、文徳等

二俵家日記

——定價金 壹圓也——

■來九十一月廿日發賣

●近代名詩選
(定價每冊八拾錢)

●伊藤聖名有選
(定價金八拾錢)

●手紙地圖略覽
手紙地圖略覽
伊藤聖名氏著
露伴の秘傳法
八〇〇

